

宮城県自死遺族支援連絡会シンポジウム

《 特別講演 》

「自死報道のあり方について」

～記者の視点から～

平成18年の自殺対策基本法成立を受け、平成19年には初の「自殺総合対策大綱」の策定がなされました。今回、令和4年10月14日に新たな大綱が閣議決定されました。

「自殺総合対策大綱」の中では、基本理念として「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指す」と示しています。遺族も含め生きている私たちは、喪われた命の意味を知る事で、大切ないのちを追い込まない社会を作る責務があると考えられます。

亡き人からのメッセージを知る方法の一つとして、また、遺族が公表した意思をどう受け止めて伝えていくか、責任ある報道とは何か、報道の役目やあり方等をお話させていただきます。

開催日：令和5年2月5日（日）

13：30～16：00

（ 受付 13：00～ ）

場 所：仙台市福祉プラザ 第一研修室

仙台市青葉区五橋2丁目12番2号

**参加費無料
事前申し込み必要
先着50名
関心のある方ならど
なたでも参加可能**

申込方法：電子申請にて令和5年1月25日（水）まで受付

《電子申請》

- ・下記URLサイトにアクセスし必要事項を記入してお申し込み下さい。
- ・宮城県精神保健福祉センターのホームページからお申し込みできます。

＜QRコード＞

＜ 申込みURL ＞

<https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi2/uketsuke/form.do?id=1669860661336>



※申込時に記載の電子メールアドレスに、1月27日（金）までに受講決定の連絡を致します。
連絡受信が可能なメールアドレスの記載をお願いします。

○当日スケジュール

13:30～ 開会

特別講演

「自死報道のあり方について」

～記者の視点から～

講師：共同通信記者 佐々木 央 氏

15:15～

宮城県自死遺族支援連絡会シンポジウム

コーディネーター：宮城県精神保健福祉センター所長 小原聡子

助言者：共同通信記者 佐々木 央 氏

シンポジスト：仙台わかちあいのつどい藍の会

社会福祉法人仙台いのちの電話すみれの会

NPO法人仙台グリーンケア研究会

16:00 閉会

<注意事項>

- (1) 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会場及び待合場所等における3つの密（密閉、密室、密接）の回避にご協力ください。
- (2) 風邪症状のある方は参加をお控え下さい。また、手指消毒やマスクの着用等感染対策にご協力ください。
- (3) 来場の際には公共交通機関のご利用をお願い致します。お車でお越しの場合は、近隣の有料駐車場となりますのでご注意ください。
- (4) 新型コロナウイルス感染拡大の際には、オンライン開催に切り替えることもございますので、ご了承願います。その際には改めてご連絡いたします。

主催：宮城県自死遺族支援連絡会

連絡先：電話 0229-23-1657（宮城県精神保健福祉センター）※土日祝日は不可

構成団体：仙台わかちあいのつどい藍の会

社会福祉法人仙台いのちの電話すみれの会

NPO法人仙台グリーンケア研究会

宮城県精神保健福祉センター(宮城県自死対策推進センター)